

「一般的な家庭でのお盆飾りをご紹介」

地域によって習慣がありますので、一般的な飾り方の一例を紹介します。

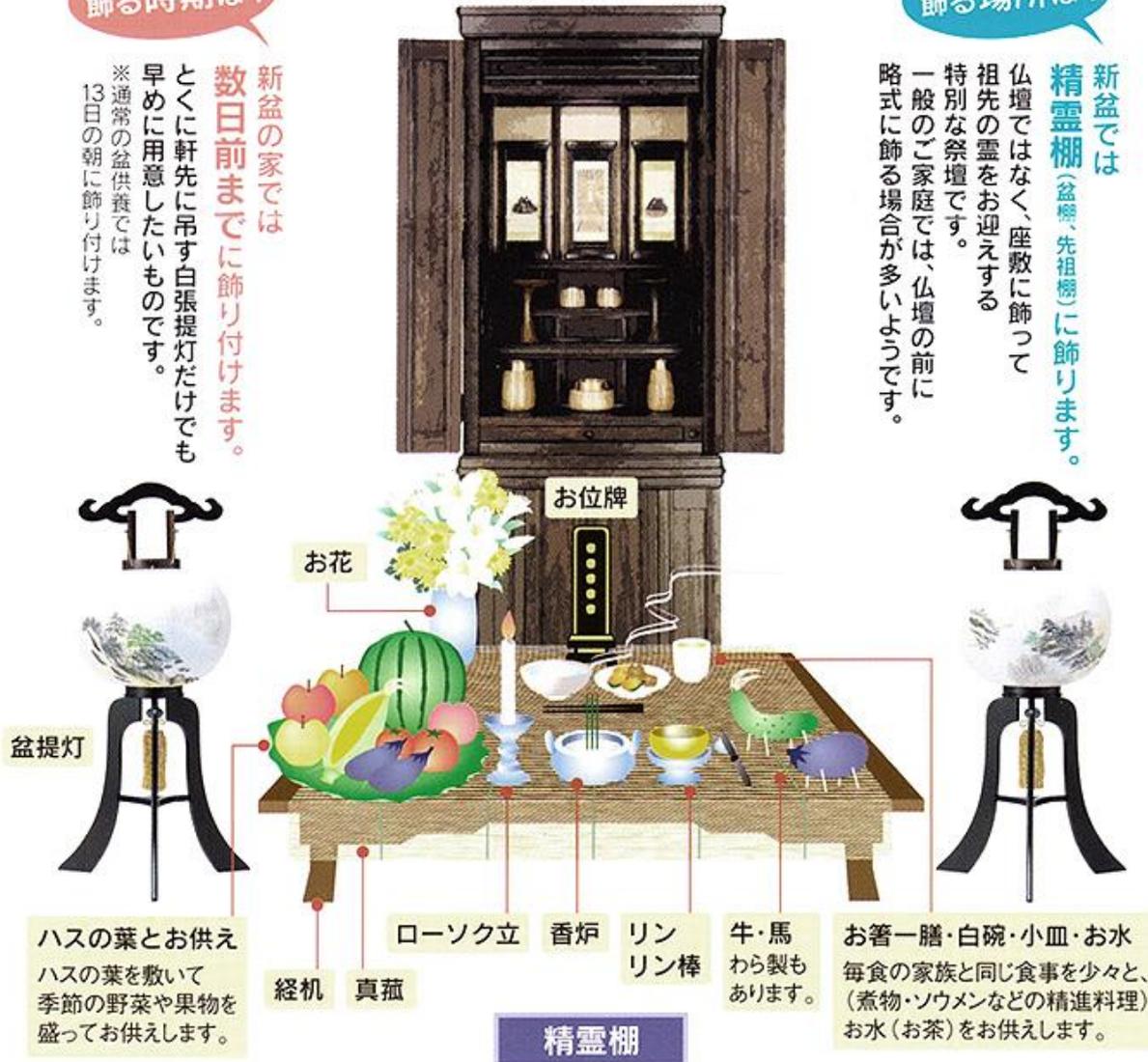
飾る時期は？

新盆の家では
数日前までに飾り付けます。
とくに軒先に吊す白張提灯だけでも
早めに用意したいものです。
※通常の盆供養では
13日の朝に飾り付けます。

※仏壇の扉を開めた状態でお参りされる場合もあります。

飾る場所は？

新盆では
精霊棚（盆機、先祖棚）に飾ります。
仏壇ではなく、座敷に飾って
祖先の霊をお迎えする
特別な祭壇です。
一般のご家庭では、仏壇の前に
略式に飾る場合が多いようです。



上記のお盆飾りは一般的な飾り方で、地域によりいろいろな飾り方があります。
精霊棚の上には、御位牌（過去帳）を中央正面に祀り、
香炉、花立て、蠟燭立て、金（鈴）などを並べます。

◆ 簡単な盆棚の作り方

- ・ 経机か、小さな机に真菰（まこも）あるいは敷物を置きます。
- ・ 蓮葉の上にお供え物（五供・季節の野菜や果物・故人の好物・水の子など）を準備し、五供香（明かり・花・水・食べ物）、なす（牛）やきゅうり（馬）などをお供えします。
- ・ ほうずきは提灯を表わしたもので、世を照らす「智慧の灯り」です。
ソーメンなどは土産を結ぶ紐代わりに用いられると云われています。
- ・ 盆棚の脇に盆提灯（先祖や故人の霊が迷わず帰ってくる目印として）飾り、灯します。
- ・ 御位牌（過去帳）を机の中央に安置します。

柳谷観音 大阪別院 銀龍山 泰聖寺